

西蒲区選挙区 選挙公報

《重要》

西蒲区にお住まいの方がこの候補者に投票できます。
西蒲区以外の方は、お住まいの区選挙公報をご覧ください。



幸田健太
こうたけんた

政治家の仕事は人やお金を適切に分配し社会を豊かにすることです。自分や友達の取り分を先に決めて他は後回しでは、庶民の生活は貧しく、人口が減るのは当然です。私は「ケーキを切り分けた人が最後に選ばない。」と母から言われて育ちました。自分は後回しで社会を豊かにする。私はそういう政治家になりたいのです。庶民の生活が豊かになるまで、議員の給与は、少なくとも私の給与は最低賃金にします。

「地元を盛り上げたい」「今日、食べるものがない」どんなことでも相談ください。誰にも開かれた常設の事務所を開設します。

子どもは約20年で成長し、その後、長く地元を支えます。「教育」は万能の解決策です。

人も、お金も「教育」に使わせてください。育った若者が10年後、20年後、私たちの地元を必ず輝かせます。

約束は必ず守り、やりとげます。みなさんの役に立ちます。ご支援をお願いします。

- 昭和51年9月20日生まれ 46才
- 巻北小、巻西中、巻高校、放送大学卒
- 学習支援事業所「寺子屋」代表
- 「無料塾」「制服・学用品リサイクルバンク」代表
- 巻・曾根・岩室駅前朝のあいさつ5年継続中
- 家族：妻、娘 「原発反対・廃炉を実現」




小林弘樹
こばやしひろき

1983(昭和58)生まれ。東京国際大学国際関係学部卒業。新潟日報販売株式会社を経て、雑誌社を起業。県内各地を取材し、地域の魅力を発信。
*防災士 *市消防団員

＊高齢になっても、障がいがあっても、住み慣れた地域で助け合い安心して暮らし続けられる西蒲を。つぎの時代を担う若者がこの地域で暮らしたい、働きたいと可能性を見出してくれるような西蒲を。若い感性と行動力で取り組みます!!

- 子どもは地域の宝。安心できる子育て環境のさらなる充実を!
- 農業は命と暮らしを守る重要な産業。持続可能な農業施策を
- 介護・医療・福祉の充実で住み慣れた地域で安心した生活を
- 企業誘致による雇用創出と起業支援の加速!
- 広域連携にて西蒲観光活性化!!
- 行政、自治会、企業、福祉、消防団、防災士の連携による防災対策の強化!
- 地域の活力を生むコミュニティ、祭り、歴史・伝統文化への支援充実
- 原発再稼働の反対。国土を守り、持続可能なエネルギー政策へ!



土田ますみ

●行政経験30年
行政のことがよく分かり、市役所・区役所に太いパイがあります。市長と連携して物事を進めます。

●まちづくり活動20年以上
市民の立場で『鯛車復活プロジェクト』など、地域の特色を活かしたまちづくりを進めています。
西蒲区の未来に向かって全速前進。

【現在、力を注いでいること】

- 潟東地区の廃校、間瀬の旧保育園等、市有遊休施設を活用した新事業の検討
- 西蒲区をモデルにした「空き家バンク」の創設
- 環境制御型野菜工場増設計画
- 民間活力による各地の新規事業計画支援



こばやし 保夫
やすお


田園型政令市とは何だったのか?

西蒲区の可能性を追求します
停滞から躍進へ

- 県職員33年。あなたの声を市政・県政につなぎます。
- 企業誘致などの経験を活かし、バランスのとれた開発・発展に挑みます。

1962年11月、新潟市西蒲区熊谷(旧湯東村)で農家の次男として生まれる。現在、妻と知的障がいのある息子の3人暮らし。湯東中学校、巻高等学校、法政大学経済学部卒業後、都市銀行勤務を経て、1989年新潟県庁入庁。広報広聴課長補佐、弥彦村総務課長(県から派遣)、文化振興課長、営業企画課長など、14部署を歴任。

こばやし保夫 公式HP



竹内いさお

いのちを守り 誰もが安心して暮らせるまちづくり

- 憲法9条は変えない
- 敵基地攻撃能力は持たない
- 防衛費43兆円の増税は認めない
- 刈羽原発6・7号機再稼働反対
- 再生可能エネルギーの導入推進
- 原発の新増設は認めない
- ゆきとことした教育
- 小学校の少人数学級
- 福祉・住民生活の課題解決
- 新幹線騒音問題
- 浄水場放射性汚泥問題
- 角田山登山道整備問題
- 公共交通空白域課題

1950(S25)年1月生まれ
巻小・巻中・巻高・日体大・日大(通信教育部)卒業 県立高校教諭
◇監査委員
都市計画審議会委員
環境建設常任委員長

地域で活動 議会で発言!

この選挙公報は、候補者から提出された原稿を、そのまま写真製版により印刷したものです。掲載順序はくじによって決めました。